

**平成 30 年度 2 級管工事施工管理技術検定実地試験
解答速報（解答例）**

一般財団法人 地域開発研究所

【問題 1】（必須）

設問 1	解 答	
(1)	名称	ねじ込み式排水管継手
	用途	配管用炭素鋼鋼管（SGP）を用いた排水配管に使用する。

設問 2	使 用 場 所 の 例	
(2)	A図	ピッツバーグはぜ
	B図	ボタンパンチスナップはぜ

設問 3	理 由 又 は 改 善 策
(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ポリエチレンフォーム保温材が支持金具により圧縮され減肉して保温効果を損なう。 ・支持金具にあたる部分の減肉を見込んで、断熱粘着テープを2層巻き以上して補強する。または配管受け面積の広い保護プレートで支持し、断熱材のつぶれを防止する。
(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・洗面器の排水トラップの下流にドラムトラップがあり、二重トラップとなっている。 ・排水管に設置されているドラムトラップを、実験流し排水管接続点と通気管取出し点の間に設置する。
(5)	<ul style="list-style-type: none"> ・通気管の末端開口部と空気調和設備用外気取入れ口の離隔距離が取れていない。 ・通気管の末端開口部を、空気調和設備用外気取入れ口から水平距離で3 m以上離す、または垂直距離で0.6 m以上上部に設ける。

（注）解答は、理由又は改善策のいずれかでもよい。

【問題 2】（選択：問題 2 と問題 3 の 2 問うちから 1 問を選択）

(1)	周囲に本体、主軸、軸受け、電動機などを保守点検が可能なスペースを設ける。
(2)	標準基礎はRC造、高さ300mmとし、表面に排水溝と排水目皿を設ける。
(3)	ポンプ及びモーターの水平を確認し、必要によりライナーを打ち込んで水平を出し、軸心を調整する。
(4)	アンカーボルトは、基礎と一体で設置するか、基礎につなぎ筋を設置して緊結して設置する。

【問題 3】（選択：問題 2 と問題 3 の 2 問うちから 1 問を選択）

(1)	管の切断は、帯のこ盤や丸のこ盤で管軸に対して直角に切断するものとし、発熱や管径を絞るものは使用してはならない。
(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・面取りは、スクレーパーによって行い、鉄部を露出させないように行う。 ・ねじ加工後は、テーパねじ用リングゲージで管端がゲージの合格範囲内にあるか確認する。
(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・継手には管端防食管継手を用いる。 ・水道用の防食ペーストシール剤を適量塗布して接合する。
(4)	手締めで十分ねじ込んでから、パイプレンチ等を用いて所定の締め付けトルクと所定の残りねじ山数まで締め付ける。

(注) (2) は、面取り又はねじ加工に関する留意事項のいずれかでもよい。

(3) は、管継手又はねじ接合材に関する留意事項のいずれかでもよい。

【問題 4】（選択：問題 4 と問題 5 の 2 問うちから 1 問を選択）

設問 1	別紙参照
設問 2	別紙参照
設問 3	別紙参照
設問 4	別紙参照
設問 5	タクト工程表は、繰り返し作業が行われる工事に適している。

【問題 5】（選択：問題 4 と問題 5 の 2 問うちから 1 問を選択）

設問 No.	解		答
設問 1	(1)	A	砂
	(2)	B	2
	(3)	C	すべり止め装置
	(4)	D	1.8
設問 2	(5)	E	熱中

【問題 6】(必須)「施工経験記述」

省 略

お断り：

本解答速報は、当研究所が自らの理解に基づいて一つの解答例として作成したものです。筆記試験の性格上、複数の正解が存在するものと考えており、唯一の解答としてお示しするものではありません。また当然に、正解を保証するものではなく、本解答例と異なることで受験者の皆様のご解答を否定するものではありません。

ご質問については一切お答えしかねますので、ご了承ください。

詳細は、「2級管工事施工管理 技術検定試験問題解説集録版 2019年版」(準備中)に掲載いたします。

